

アスファルトやコンクリート、芝のはぎ取りは過剰除染！？ 簡易な除染以外は国の補助が受けられない

福島第一原子力発電所事故による放射性セシウムの除染作業がすすめられている、国が汚染状況重点調査地域に指定された沼田市など12市町村に対し国は、簡易な除染以外は補助しないと伝えたとの報道がありました。

15日に開かれた市議会、民生福祉委員協議会で大東議員はこの問題を取り上げ、市の対応などを質しました。

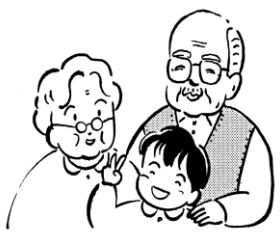
担当課長は、「アスファルト・コンクリートのはぎ取り、芝のはぎ取りなどは認められない。市としては除染を途中で取りやめることはできない」との考えを示し、国が補助しない部分については、「東電に補償請求することもある」と答えました。



沼田市の高齢化率は26.9% 根利は54.9%

安心して老後をすごせる対策を急ぐことが必要です

沼田市の高齢化率（人口に65歳以上の人の占める割合）は4月1日現在26.9%で、全国平均の23.3%を3.6ポイント上回り、7年前と比較すると3.5ポイント上昇し、高齢化が確実にすすんでいます。



高齢化率が最も高いのは、根利の54.9%、次に高いのが南郷の51.2%でした。

高齢化がすすむ沼田市にとって、老後を安心してすごせるよう、介護・医療の充実、移動手段の確保、生きがいつくりなど高齢者福祉の充実が急がれます。

食品の放射能検査211件を検査

野生のキノコ類イノシシ・クマの肉などは出荷制限

5月10日から沼田市消費生活センターおこなわれている食品等放射性物質検査の件数は、今月4日で211件（自家栽培などの自家消費食品153件、店舗等で購入した食品58件）となりました。

このうち8件が、50ベクレルを越え確定検査がおこなわれました。

群馬県では、沼田市産の乾しいたけ、野生のキノコ類、薄根川のイワナとヤマメ、イノシシとクマの肉（県全域）について出荷制限等をおこなっています。

沼田市消防団第4分団 全国大会で準優勝

7日に東京でおこなわれた、第23回全国消防操法大会ポンプ車の部に群馬県代表として出場した沼田市消防団第4分団は、182.50点で準優勝となりました。

全国大会では優勝が1チーム、準優勝が3チーム、優良賞5チームが選ばれ、第4分団は、全国4番目の成績で（2番目から4番目のチームが準優勝）準優勝に輝き、初出場で偉業を達成しました。



2012年10月21日

NO. 326

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です



こんにちは。中国・北朝鮮の動向はつねに、日米安保条約や自衛隊強化の口実とされてきました。現在では、米海兵隊のMV22オスプレイの沖縄への強行配備と、尖閣諸島問題と結びつけられています。これには軍事の専門家から疑問の声が相次いでいます。2005年10月の在日米軍再編合意には、「日本は…島嶼（とうしょ）部への侵略といった、新たな脅威や多様な事態への対処を含めて、自らを防衛し、周辺事態に対応する」とあり、これは尖閣諸島などが占領されたとしても、それは日本の責任だということです。軍事専門家は、「相手が艦隊や戦闘機を出動させれば、オスプレイで飛んでいっても撃ち落とされるだけ。それを避けるためには敵地に乗り込んで、リーダー網を破壊しないといけないが、尖閣のために米国がそこまでやるかは疑問」と語っています。が、領土問題での外交・政治戦略が欠如したまま、軍事的対応の強化を叫ぶだけでは、発想の貧困をさらけ出すだけでしかありません。

ぶらい散歩 めまた道 利根町 その六十九 根利山の今と昔



事業が行われていたころの砥沢



木材が集められている砥沢の土場



土場があつ付近の現在の様子

※過去の写真は「幻の集落 根利山」より転載